



キャンバスだより



第1号

平成16年9月25日発行

発行責任者 迫田 善子

発行 特定非営利活動法人
キャンバスの会事務局

待望のくれよんはうす落成（8/22）

沢山の皆様のお力添えにより、都城の高台久保原町の茶畑のそばに待望のくれよんはうすができました。

施設はバリアフリーの木造の建物で、リフト式のお風呂、全面床暖房、電磁調理器を備えています。

10月に在宅障害児育成支援（学童保育）を始めるにあたって親の負担の多い夏休みの8月、続く9月に障害児学童保育をボランティアで実施しましたところ、9月20日までに養護学校の児童生徒さんや三股町、山田町、遠く小林市などから延べ350人もの利用があり、希望者には送迎をしました。

ヘルパーさんとボランティアの方達と新築の気持ちのいい部屋で絵を描いたり、音楽を聴いたりして子ども達は楽しく過ごしていました。

マスコミの方々もキャンバスの会の活動に注目してくださり、取材申し込みがいくつもあり、新聞紙面やテレビ、ラジオ等にも出演しました。反響の大きさに責任の重さをひしひしと感じます。

ピアノが来ました。

くれよんはうすに、ピアノが来ました。


宮崎市の鮫島美樹さまより、大切に使用しておられたピアノを遠方に引っ越すからと、キャンバスの会に寄付していただきました。


音楽の好きな子ども達です。大喜びで使っています。


個性的な音楽家がこのくれよんはうすから出てくれるかもしれませんね。




レスパイト報告

 現在レスパイト利用の方が1才4ヶ月のかわいい幼児から30才の青年まで幅広くおられます。レスパイトでの活動は、利用者の体調、希望に応じて高千穂牧場で小動物とふれ合い、夢見ヶ丘ではトーマス電車に乗りました。えびの高原の足湯ではうっとり気持ちよさそうでした。

 ジャスコや大丸モール街ではCDや本や洋服などを自分で選んで買う楽しさを知りました。レストランにも入り、大好きなソフトクリームが顔中についたと言って大笑いしていました。

 またカラオケにも行きました。音楽の大好きな子ども達。マイクを握ったら離さない子もいました。費用は利用者負担ですが、家族以外と外出する機会を多く持つことにより、本人の成長と家族の絆を確かめる場にもなっていると思います。地域で自立していくことが私達の願いです。一步ずつ一步ずつ近づけるようにお手伝いしたいと思います。

 これからも、利用者のご希望を伺いながら、1人でも多くの方に安心して過ごしていただけるレスパイト活動を計画していきます。

地域づくり推進交流大会

みやこんじよ秋祭り

10月23日(土)～24日(日)
ウエルネス交流プラザにて

キャンバスの会も子供用紙オムツ等を販売します。

収益は、障害者の作業所作りの資金に充てます。

皆さんも、のぞいてみて下さい。



編集後記

キャンバスの会もNPO法人に認定されてから4ヶ月過ぎました。活動の状況の一端をお知らせ致します。

職員一同元気で頑張っていますので、これからも宜しくお願い致します。

編集者 瀬之口

折々にキャンバスだよりを発行しようと思います。
皆様のご意見をお聞かせ下さい。インターネットでも結構です。
アドレス <http://www13.onc.ne.jp/~canbas/index.htm>